

平成22年度

適性検査Ⅰ

注 意

- 1 問題は [1] から [6] までで、15ページにわたって印刷してあります。
- 2 検査時間は45分で、終わりは午前9時45分です。
- 3 声を出して読むはいけません。
- 4 解答はすべて解答用紙にはっきりと記入し、**解答用紙だけを提出**しなさい。
- 5 解答を直すときは、きれいに消してから、新しい解答を書きなさい。
- 6 性別・受検番号のみを解答用紙の決められた欄らんに記入しなさい。

さいたま市立浦和中学校

太郎くんのクラスでは、総合的な学習の時間に「日本の伝統や文化」について調べることになりました。

次の文章は、太郎くんたちが図書館で見つけた資料の中の一節です。これを読んで、問1～問5に答えなさい。なお、文章中の①・②、⑨・⑩は段落につけた番号です。

- ① 日本人が昔から守り続けてきた伝統や文化にはさまざまなものがあります。身近なものでは「和服」「和室」「和食」などがあげられます。(A)、年中行事といわれる「正月」「七五三」「七夕」など、季節ごとの行事によって感謝の気持ちを表し、自分たちの生活を豊かにしてきたのです。私たちの祖先が大切にしてきたものを受け継ぎ、次の世代に残すことは現代に生きる私たちの使命であるといってもよいでしょう。
- ② その国や地域で長く受け継がれてきた「もの」をよく見てみると、そこに暮らす人々の「こころ」の持ちように大きく影響を受けていることがわかります。もちろん、歴史や時代の中で大切にしてきた「もの」が、日本人の「こころ」をはぐくんできたという、逆の言い方もできるでしょう。日本の伝統や文化は、どのような「こころ」に支えられ、また、どのような「こころ」をはぐくんできたのか、考えてみることにしましょう。

〈※ 問1の ア～カが入ります〉

- ⑨ どちらの例を見ても、私たちの祖先が大切にしてきたものを受け継ぎ、次の世代に残すことはとても困難な現状であると言えそうです。伝統や文化は「昔はよかった」と言っていれば、受け継いでいけるというわけではありません。(B)、日本人は外国の文化を取り入れることに対しても柔軟です。だからこそ、歴史を学び、自然を学び、今の私たちを取り巻く状況を冷静に観察する力を手に入れてこそ、伝統や文化を守り育てていけると言えるでしょう。
- ⑩ 先に述べた、二つの「こころ」に加え、日本の伝統や文化を支えている「こころ」がもう一つあります。相手に対し、礼儀正しくしようとする気持ちです。狭い国土に多くの人が住む日本の中ではぐくまれたと考えられる、人に対して心配りができるやさしさや、常に相手を思いやる気持ちは、日本人の代名詞といっても過言ではありません。一人で何もかもができるような便利な世の中であっても、この「こころ」を中心に据えて、現在の社会を考えていくことが、過去から未来へ伝統と文化の橋渡しをする、私たちの役目ではないでしょうか。

問1 この文章の※の部分には、次のア～カの段落が入ります。ア～カの段落の順序について、最もふさわしい順序を考え、ア～カの記号で答えなさい。

ア この点においても、私たちはこの大切な「こころ」を失いつつあるようです。私たちは、様々なサービスに依存し、家から出ることなく生活に必要なものを手に入れることができます。必要なものを声に出すことすらせず、手に入れることもできるのです。また、能動的な行為である「学ぶこと」でさえもサービスとして受け取っている現状がほとんどです。すべてのものを自分の力で手に

入れているのだという錯覚^{さつかく}を起こしかねないような現状の中では、「協力」や「連動」を大切にしようとする「こころ」を保ち続けるのは難しいことです。自分を押し殺^{おころ}してまで「協力」の中に身を置こうとする日本人の態度は、欧米^{おうべい}の文化の中で育てられた人から見ると、批判の対象になりがちですが、日本では「和」という言葉^{しやうちやう}に象徴される調和の精神を伝統や文化の基盤^{きばん}としていたはずなのです。

イ 便利さに囲まれて暮らす私たちの中にも、自然に対する敬意を忘れず、自然とともに生きている人は多くいます。志村ふくみさんは植物^{ちゆうしゆつ}から抽出^{せんりやう}した染料^{せんしよくか}を用いて、豊かな色彩^{しきさい}を生み出すことのできる染織家^{せんしよくか}です。志村さんは、それぞれの植物^{おうべい}から炊き出した色を決して混ぜ合わせることをしないそうです。それは、志村さんの言葉を借りれば、「根は大地に根ざすしっかりとした色調を持ち、花は散りてこそその儂^{はかな}い移ろいやすい美しさを持っている」からだそうです。また志村さんは次のようにも述べています。「古来、我々の先祖はすべての草木^{れい}に霊^いがあると考え、強い木霊^{こだま}の宿る草木は薬草として用いられた。薬草に宿る霊能^{れい}によって、病が癒され、その薬草から色彩^{しきさい}をとり出して、布に染め、身にまとって保護したのである。(中略)一色一色の色の持つ意義は深く、それを尊んだものと思われる。いつごろからこうした思想^{しきさい}が希薄^{きはく}になっていったものであろうか。現代の人間は、色彩^{しきさい}を単に感覚的なものとして捉え、身近にふんだんに色彩^{しきさい}をまき散らしているが、そのこと自体にも、もはや我々は無感覚になっているのではあるまいか。」この言葉は、色彩^{しきさい}に限らず、自然のいのちを当然のように受け取ってしまう私たちに、自然とともに生きようとする「こころ」を思い出させてくれるような気がします。

ウ ところが、最近では、科学や経済^{ともな}の発展に伴って、現代に生きる私たちの中でこの気持ちが薄^{うす}れているように感じられます。手軽で便利であることを求めすぎた私たちは、あたかも人間だけが自然^{おんけい}の恩恵を受ける権利があるかのようなふるまいをしています。地球環境^{かんきやう}を人間の体に例えたら、ケガや病気の状態はどれぐらいか、というアンケートをとったところ、地球を「危篤^{きとく}状態あるいは意識不明の状態である」と考えている人が約25%もいたということです。「エコ」という言葉がさかんに使われるようになり、自然への配慮^{はいりよ}を考える人が多くなったとはいうものの、自然とともに生きようとする感覚を失いがちな私たちに、日本の伝統や文化は背を向けはしないでしょうか。

エ もう一つ、伝統や文化^{き ほん}と切り離^{きりな}すことができない日本人の心の持ちようについて考えてみましょう。日本人は他の人と気持ちを一つにし、力を合わせてものごとに取り組もうとする姿勢を大切にしてきました。この「こころ」も、日本の伝統や文化に、そして今の日本人のものの考え方に、大きな影響^{えいきやう}を与えていると言えそうです。

オ この「協力」を大切にしようとする姿勢は、日本人が農耕民族であることにその大きな要因があるのかもしれませんが。日本では、稲作^{いなさく}を家族や村で協力して行い、その村を中心とする社会を作り上げてきました。稲を育て、収穫^{いね}するという作業^{しゆうかく}が一人でできないというだけでなく、水路をつくり、水を引き入れ、家畜^{かちく}を育て……と考えると、かまどでお米^たを炊くまでには相当の人の手が必要です。それは「協力」だけでなく、「連動」という言葉がふさわしいかもしれません。社会というものは、人間が生きていくために作り上げた保護的な連動体です。よきにつけ、(C) しきにつけ、日本ではみんなで横に並んで、一つの目標^{けいこう}に向かって進むことを大切にしている傾向があります。

カ 伝統や文化をはぐくむ第一の要素として、自然環境^{かんきょう}が考えられます。私たちの祖先は、いつも自然とともに生きようとする心を大切にしながら暮らしてきました。日本は自然が豊かです。四季の移り変わりに心を寄せながら暮らしてきました。また、四季それぞれの食べ物や生活の楽しみをつくり出し、受け継いできました。自然の美しさを求めようとする心もその一つといえるでしょう。春の梅や桜、秋の月や紅葉など、自然の美しさを感じる心は今も私たちの中に息づいています。自然だけではなく、人のふるまいにも美しいと感じることが多くあります。

問2 文章中の（ A ）・（ B ）に共通して入る言葉として、最もふさわしいものを次のア～エの中から1つ選び、ア～エの記号で答えなさい。

ア また イ しかし ウ だから エ むしろ

問3 段落オの（ C ）に入る言葉を1字で書きなさい。

問4 段落オの下線部「日本ではみんなで横に並んで、一つの目標に向かって進むことを大切にする傾向^{けいこう}があります」について、このことを具体的に取り上げて説明している段落を探し、段落の番号あるいはア～カの記号で答えなさい。

問5 次のア～エの中から、この文章で述べられていることと合っているものをすべて選び、ア～エの記号で答えなさい。

- ア 日本人が協力を大切にしているのは、農業に関する暦^{こよみ}を重んじ、季節に対して敏感^{びん}だからである。
- イ 日本人が協力を失いつつあるのは、人のふるまいに対して美しいと感じなくなったからである。
- ウ 日本人は、自然から恩恵^{おんけい}をうけることだけを考え、自然に対する感謝の気持ちが薄^{うす}れているようだ。
- エ 日本人は、豊かな自然に対して、四季の移り変わりを楽しみながら、伝統や文化を受け継いできた。

2

総合的な学習の時間に「日本の伝統と文化」について調べた太郎くんは、そこからさらに発展して、日本の文学について興味を持ちました。そこで、お母さんに相談すると、有名な小説家である小林多喜二^{たきじ}の生き方を母親の視点^{えが}で描いた、三浦綾子^{みうらあやこ}作『母』^{しやうかい}を紹介してくれました。

次の文章はその作品の一部です。文章を読み、問1～問5に答えなさい。

三浦綾子作「母」

角川文庫 55頁6行目から65頁6行目の文章による。

問1 文章中に登場する「末松つあん」は、多喜二とどのような関係ですか。次のア～エの中から1つ選び、ア～エの記号で答えなさい。

ア 祖父 イ 父 ウ 兄 エ 叔父^{おじ}

問2 文章中の [①] ・ [②] に入る最もふさわしい言葉を文章中から探し、それぞれ漢字2字で書きなさい。

問3 次の二文は文章中にあったものです。内容をよく考えて、その文の入るべき箇所^{かしょ}を探し、直前の3字（句読点^{ふく}は含まない）を書きなさい。

なぜかといったら、三吾^{さんご}の手はバイオリンを弾く手だ、重い杵^{きね}など持って餅^{もち}ついたりしたら勘^{かん}が狂う。そしたら、三吾^{さんご}は決していいバイオリンの弾き手にはなれないべってね。

問4 文章中の [③] に入る最もふさわしい言葉を漢字1字で書きなさい。

問5 文章中の下線部「人間の^か手では、なかなか命のあるものは、描^かけんのねえ」と言った多喜二の気持ちを説明した次の文の空欄^{くうらん}に、最もふさわしいと考えられる言葉を、[1] の文章中（問1のア～カ^{ふく}を含む）から8字^かで書き抜きなさい。

家族に対しても、常に優しい^{やさ}態度で接することのできた多喜二は、絵を描^かきながら人間が自然の中で生かされている存在であることを理解し、[] を忘れてはならないと気づいた。

3

太郎くんは動物について調べることになり、草食動物について『動物のはてな』（講談社ビーシー）という本で調べてみました。

次の文章はその一節です。文章を読み、問1～問3に答えなさい。

はてな委員会作

「動物のはてな」

講談社ビーシー

14頁から17頁の文章による。

花子さんのクラスでは、総合的な学習の時間にグループで「日本の食事」について、調べて発表することになりました。

次の「会話1」と「会話2」を読み、「資料」をもとにして、問1～問7に答えなさい。

会話1

太郎：日本は食べ物が豊富で、食べたいものを買ってきたり、レストランでは、和食やフランス料理、イタリア料理、中華料理などを注文して食べたりできるね。また、学校ではおいしい給食も食べられる。コンビニエンスストアでは、夜中でも弁当やおにぎりを買えるよ。

花子：確かに食事に困ることはないわね。けれども日本の食生活は本当に豊かなのかしら。日本の（①）を調べてみましょうよ。

太郎：自分の国で必要な食料を自分の国で生産している割合のことだね。自分が毎日食べている物について考えなければならないね。

先生：そうだよ。世界中に住む多くの人々がう飢えに苦しむ、う飢えやそれに関係する原因のために亡くなっているね。私たち日本人がはい食べ残してはい廃棄する量も決して少なくはないよね。

花子：世界では、その日の食事にも困っている国もあるのね。日本や世界のために、②私たちにできることはないかしら。日本では、（①）を（A）くする目標が定められていることを知りました。この目標を達成するため、生産から消費まで食品に関係する私たち全員が食生活の見直しから生産まで、身近な生活の中でできることで協力し合うことが大切だということも知りました。それから、もう1つ、食品の（③）についても考えましょうよ。

太郎：ニュースなどで食品の産地をごまかしたり、残留農薬の問題が伝えられているね。

会話2

太郎：（④）のホームページを見ていたら、いいデータを見つけたよ。

花子：グラフにすると分かりやすいわね。

太郎：ある年度の国ごとの比較は（⑤）、年度ごとの数値の変化は、（⑥）にするといいね。単位が%（パーセント）で100を超えている国があるということは、食料を（⑦）にたよらずに自国でまかなえるということだよね。

花子：そうね、国内産が少ないとどうしても（⑦）にたよらざるを得ないのよね。それに、諸外国と比べてみて、最近の日本の40%という数字は（B）すぎるわよね。イギリスは日本と比べて反対の流れを示しているわね。

太郎：イギリスは国内生産の割合を増やしてきているんだね。

資料 太郎くんがホームページで見つけたデータ

国名 \ 年度	1965	1970	1975	1980	1985	1990	1995	2000	2003
日本	73	60	54	53	53	48	43	40	40
アメリカ	117	112	146	151	142	129	129	125	128
イギリス	45	46	48	65	72	75	76	74	70
フランス	109	104	117	131	135	142	131	132	122
カナダ	152	109	143	156	176	187	163	161	145
オーストラリア	199	206	230	212	242	233	261	280	237

(単位：%)

問1 花子さんは何を調べようと提案したのでしょうか。(①) にあてはまる言葉を漢字5字で答えなさい。

問2 (A) (B) に入れる語の組み合わせとしてあてはまるものを次のア～エの中から1つ選び、ア～エの記号で答えなさい。

ア A：高 B：高 イ A：高 B：低 ウ A：低 B：高 エ A：低 B：低

問3 花子さんの発言の(③) にあてはまる言葉を漢字3字で答えなさい。

問4 (④) にあてはまる言葉で、食料生産などを主にあつかう省は何と言いますか。次のア～オの中から1つ選び、ア～オの記号で答えなさい。

ア 外務省 イ 総務省 ウ 国土交通省 エ ^{かんきょう}環境省 オ 農林水産省

問5 太郎くんが提案した最もわかりやすいグラフはそれぞれ何ですか。(⑤) と (⑥) にふさわしい言葉をア～エから選び、それぞれア～エの記号で答えなさい。

ア 帯グラフ イ 折れ線グラフ ウ 円グラフ エ 棒グラフ

問6 (⑦) に「外国からものを買入れること」を意味する言葉を漢字2字で答えなさい。

問7 下線部②の「私たちにできること」を発表するにあたり、適切でない意見を、下のア～エの中から1つ選び、ア～エの記号で答えなさい。

ア ごはんを中心に、地元で生産された野菜をたっぷり使ったバランスのよい食事を心がけましょう。

イ 食品の生産を外国にたよる割合を減らすことにもなるので、食品を無駄むだにしないで、食べ残しを減らしましょう。

ウ 生産者の顔が見えて安全で新鮮しんせんな材料が手に入るので、給食に使う食材を近所の農家から買うようにしてもらいましょう。

エ 日本は海外で生産された食品にたよることをやめ、すべて日本で生産された食品だけで生活するようにしましょう。

花子さんは歴史上の人物についていろいろと調べ、人物カードを作成しました。カードには年代の古い順に番号を付け、その人物について調べたことを書きました。ところが、カードを落としてしまって、バラバラになった上に、ところどころ書いた文字が消えてしまいました。

次の「花子さんが作成した人物カード」をもとに、問1～問5に答えなさい。

カードA

No 5

豊臣秀吉

- * 関白となり、豊臣を名のる。
- * 大阪城を築いた。
- * 検地・をおこなった。

カードB

No

藤原道長

- * 摂政となる。
- * 紫式部の教養をみとめ、むすめの教育係とした。

カードC

No 6

- * 関が原の戦いで勝利した。
- * となる。
- * 江戸に幕府を開く。

カードD

No

足利尊氏

- * 征夷大將軍となる。
- * 京都のに幕府を開く。

カードE

No 3

- * 平氏を滅ぼす。
- * 守護・を置く。
- * 征夷大將軍となる。

カードF

No

平 清盛

- * となる。
- * むすめを天皇のきさきにしたり、孫が天皇になったりして、権力をにぎっていった。

問1 カードA、カードD、カードEの調べた内容が一部消えてしまいました。・・には、それぞれなにが書いてあったでしょうか。その言葉を答えなさい。

問2 カードC、カードFの人物はなんという地位につきましたか。②と⑤に入る言葉を、次のア～エの中からそれぞれ1つ選び、ア～エの記号で答えなさい。

ア だいじょうだいじん 太政大臣 イ せつしやう 摂政 ウ かんぱく 関白 エ せいいたいしやうぐん 征夷大將軍

問3 カードC、カードEの人物名がわからなくなっていました。C・E それぞれに入る人物名を答えなさい。

問4 カードに記入した番号が消えています。カードB、カードD、カードFの番号はそれぞれ何番だったでしょうか。それぞれの番号を答えなさい。

問5 6枚のカードのなかで「武将」とは呼べない人物が一人含まれているのですが、カードA～Fのどの人物ですか。A～Fの記号で答えなさい。

6

花子さんが、テレビでニュース番組を見ていると、「新型インフルエンザの流行」、「裁判員制度」、「世界遺産」について報道していました。興味をもった花子さんは、それぞれについて調べてみることにしました。

次の「花子さんが調べたこと1～3」をもとにして、問1～問8に答えなさい。

花子さんが調べたこと 1

北アメリカ大陸の(①)ではじめて死者が確認された新型インフルエンザは、世界各地で感染が確認され、日本でも対策がとられて大きな社会問題となっている。

問1 (①)の国はどこですか。国名を答えなさい。

問2 この病気は世界の国々に広まっていきましたが、世界的な対策は国際連合のある機関が中心となって進められました。その機関を略して何と言いますか。アルファベット3文字で答えなさい。

問3 日本の政府はこの病気に対して、ある省が主体となってその対策を実行しています。その省は何と言いますか。次のア～オから1つ選び、ア～オの記号で答えなさい。

ア 法務省 イ こうせい 厚生労働省 ウ 文部科学省 エ 経済産業省 オ 外務省

花子さんが調べたこと 2

5月21日に一般の国民が裁判に参加し、裁判内容の決定に主体的に関与することができる裁判員制度が開始された。この裁判員制度では、(①)歳以上の日本国民が選ばれ、「原則として、裁判員(②)人と裁判官3人が1つのチームをつくり、その職務は大きく分けて、法廷での審理にたちあうこと、評議で意見を述べること、(③)の宣告に立ち会うこと」となっている。

問4 (①) ・ (②) にそれぞれに入る、ふさわしい数字を答えなさい。

問5 (③) に入る「最終的な結論を出すこと」を意味する裁判で使う用語は何と言いますか。ふさわしい用語を答えなさい。

花子さんが調べたこと 3

- (1) 世界遺産は、国際連合教育科学文化機関(通称を(A)という)が指定している。本部はフランスのパリにある。
- (2) 「文化遺産」、「(B)遺産」と両方を兼ね備えている「複合遺産」の3種類がある。
- (3) 世界遺産は、国境を越え、全世界規模で守り伝えていく人類の宝物である。
- (4) 日本には、世界遺産として14の建物や地域が指定されている。

問6 (A) にふさわしい言葉をカタカナで答えなさい。

問7 「(B)遺産」は「白神山地」や「知床」などが当てはまりますが、(B)にふさわしい言葉を漢字2字で答えなさい。

問8 次にあげる①～⑤の日本にある世界遺産がそれぞれの都道府県にあるかを答え、その都道府県の場所を地図のア～コの記号の中から選んで答えなさい。

- | | | |
|--------------------------------|-------------------------------|---------|
| ① <small>ほうりゅうじ</small>
法隆寺 | ② <small>ひめじょう</small>
姫路城 | ③ 日光の社寺 |
| ④ <small>いづくしま</small>
巖島神社 | ⑤ <small>やくしま</small>
屋久島 | |

